

へいせい30ねんど しょう しゃ たよう しゃかいさんかそくしんじぎょういたくぎょうむ
平成30年度「障がい者の多様な社会参加促進事業委託業務」について1 もくてき
目的

しょう 障がいがあっても、いきいきと働くことのできる ちいきしゃかい 地域社会を実現するため、しょう 障がいのあ
る方の多様な ほう たよう しゅうろう ば 就労の場を確保するための支援を行う。

2 ないよう
内容

(1) しょう 障がい者職域開拓コーディネーターの派遣

ア しょう 職域開拓

しょう 障がい者雇用に関心のある しょう きぎょうなど たいしょう 企業等を対象に、しょう 障がい者雇用の成功例や、ふくし 福祉との
れんけいの う ほう など あど ばい す 連携ノウハウ等をアドバイスする しょう コーディネーターを派遣し、しょう 障がいのあ
る方の ほう しゅうろう 就労
の場の拡大を図る。

イ しょう 職場定着支援

しょう 職域開拓により しょう 障がいのあ
る方を雇用した しょう きぎょうなど たいし けいぞく 企業等に対し、継続して雇用するための
しえんせいどなど あど ばい す おこなう 支援制度等のアドバイスを行う。

じっしぶんや
<実施分野>

しょう コーディネーターを派遣する しょう きぎょうなど 企業等については、にほんひょうじゆんさんぎょうぶんるい 日本標準産業分類における次の
ぶんや ふくむ ぶんやいじょう もくひょう 分野を含む4分野以上を目標とする。

りんぎょう
○ 林業こうぎょう さいせきぎょう じやりさいしゆぎょう
○ 鉱業、採石業、砂利採取業ふどうさんぎょう ぶつびんちんたいぎょう
○ 不動産業、物品賃貸業がくじゆつけんきゆう せんもん ぎじゆつさーびすぎょう
○ 学術研究、専門・技術サービス業

(2) 事例報告会の開催

障がい者就労支援機関を対象とした事例報告会を開催し、事業成果の地域への浸透を図る。

(3) 報告書の作成

本事業の成果をとりまとめた報告書を作成する。

3 契約期間

平成30年6月21日(木)から平成31年2月28日(木)まで

4 契約の相手方

一般社団法人 北海道総合研究調査会

5 契約金額

6,393,600円

6 過去の関連事業

(1) 平成26年度「障がい者就農ビジネス人材育成事業」(予算額:27,566千円)

① 農福連携の事例調査

② 農福連携に関するシンポジウムの開催

③ 地域モデルの構築(実施分野:農業)

④ 農福連携事例集の作成

＜モデル地域における取り組み＞

ぶるじょくとめい プロジェクト名	ちゅうしん だんたい 中心となる団体 ／所在地	とりくみがいよう 取り組み概要
1 のつぎょう ふくし きよてんづくり 農業と福祉の拠点づくり ぶるじょくと プロジェクト	ほうしん NPO法人 さとにくらす サトニクラス ／つきがたちょう 月形町	つきがたちょう のつか ふくしじぎょうしゃ おこなって のつぎょう 月形町の農家や福祉事業者がそれぞれ行ってきた農業 と福祉に関する取り組みをネットワーク化し、「農福連携」 の拠点づくりに取り組んだ。
2 ちゅうしん のうふくれんけい JAが中心となった「農福連携」 の場づくりぶるじょくと プロジェクト	JAこしみず ／こしみずちょう 小清水町	こしみずちょうちさと しょう しや ふくしかんけいしゃ のうふくれんけい 小清水町内外の障がい者や福祉関係者に「農福連携」によ る新しい働き方を提案し、事業所の開設を視野に「農福 連携」の体制づくりを目指した。
3 じちののつか れんけい 地元農家と連携した 6次産業化による「農福連携」 の拡大プロジェクト	かぶしき Giggles 株式会社Giggles ／なよろし 名寄市	ふくしじぎょうしゃ のうか ねつとわーく くむ 福祉事業者と農家がネットワークを組むことで、6次 産業化を柱とした「農福連携」事業の拡大を目指した。
4 しょう しや あんしん くらす 障がい者が安心して暮らす ことのできる集落づくり ぶるじょくと プロジェクト	ひまわり こんえんかい 後援会 ／まくべつちょう 幕別町	のつぎょうせいさんほうしん ぐるーぷほーむ れんけい うんえい 農業生産法人とグループホームを連携して運営すること で、重度障がい者が地域で生活するための「住まい」と 「働く場」がある集落づくりを目指した。
5 どうなんちいき 道南地域における 農福連携掘りおこし ぶるじょくと プロジェクト	ちいき のうぎょうしゃ 地域の農業者・ 福祉事業者 ／どうなんちいき 道南地域	どうなんちいき のうぎょうしゃ ふくしじぎょうしゃ たいしょう のうぎょうしゃ しょう 道南地域の農業者や福祉事業者を対象に、農業者の障 がい者理解・福祉事業者の農業理解の促進を目的とした シンポジウムを開催し、農福連携への理解を広げた。

(2) へいせい27ねんど たよう じぎょう よきさんがく せんえん
平成27年度「多様なしごとづくり事業」(予算額: 14,195千円)

- ① しょう しやこよう かもうせい にないてぶそく じばさんぎょうちようさ
障がい者雇用の可能性がある担い手不足の地場産業調査
- ② しょう しやこようせみなー かいさい
障がい者雇用セミナーの開催
- ③ ちいきもでる こうちく じっしぶんや かんこうぎょう しょうこうぎょう
地域モデルの構築(実施分野: 観光業、商工業)
- ④ しょう しや じばさんぎょう しゅうろうじれいしゅう さくせい
障がい者の地場産業での就労事例集の作成

＜モデル地域における取り組み＞

ぶるじょくとめい プロジェクト名	とりくみちいき 取り組み地域 ／業種	とりくみがいよう 取り組み概要
1 だいきばはたさくちいき 大規模畑作地域に おける通年での障が い者の就労の場づく り	こしみずちょう 小清水町/ のうぎょう 農業	まち れんけい のうぎょう せんはたしはきぎょう くみあわせる つうねん しゅうろう 町とJAが連携し、農作業と選果場作業を組み合わせることで通年の就労の 場づくりを目指す取り組み。町内に障がい者就労支援事業所がないため、 きんりん しちやうそん じぎょうしや ようごがっこう じっしゅうせいれい はじめ しょうらいてき 近隣の市町村の事業所や養護学校の実習受け入れから始め、将来的にはJA での一般雇用や町内に新たに就労支援事業所を設置することを目指した。
2 しょうこうかい ちゅうしん 商工会が中心とな った障がい者の働く 場づくり	いまがねちょう 今金町/ しょうこうぎょう 商工業	ちやうない こうどうようごがっこう せいと ぞつぎょうご ちやうない しゅうしやく かんきやう 町内にある高等養護学校の生徒が卒業後に町内で就職ができる環境を ととのえ しょう しや しゅうろう ば こうちく どうじ ちゅうしやうきぎょう じんざいかくほ 整備、障がい者の就労の場を構築すると同時に、中小企業での人材確保、 まち じんこうげんしょう はじめをかけることを目的とした取り組み。
3 かんこうあんないまどぐち きよてん 観光案内窓口を拠点 とした障がい者の 就労の場づくり	さつぽろし 札幌市/ かんこうぎょう 観光業	さつぽろえき たてちのい せつち ほつかいどうゆに ばーさーかんこうせん たー 札幌駅の建物内に設置された「北海道ユニバーサル観光センター」において しょう どうじしや まどぐちたいおう おこない しょう しや ふくめて ひと ほつかいどう 障がい当事者も窓口対応を行い、障がい者を含めてすべての人が北海道 りやこう たのしめる さぽーと とりくみ 旅行を楽しめるようサポートする取り組み。

(3) 平成28年度「障がい者就労の多様な産業創出事業」(予算額: 11,117千円)

①地域モデルの構築(実施分野: 水産業、情報通信業、サービス業)

②報告書の作成

<モデル地域における取り組み>

ふるじえくとめい プロジェクト名	とりくみちいき 取り組み地域 ／業種	とりくみがいよう 取り組み概要
1 水産業における障がい者就労の可能性	余市町 ／水産業	水産業における障がい者就労に結び付けるために、余市町を中心とし、た北後志地域で考えられる水産分野の仕事内容の洗い出し、水産分野が抱える課題等を整理し、その中で障がい者が担える可能性がある仕事について検討した。福祉関係者と水産関係者が連携し、水産業での障がい者就労の仕組みづくりを目指した。
2 障がい者のIT分野(情報通信業)就労促進	札幌市 ／情報通信業	IT分野の障がい者就労促進に向けて、具体的にどのような仕事が障がい者就労及び訓練として成立する可能性があるかを検討した。そのために必要な情報やステップを協議会形式で議論・整理することにより、IT分野での就労支援モデルの構築を目指した。
3 ビルクリーニング業(サービス業)と福祉による就労促進	函館市 ／サービス業	ビルクリーニング分野における障がい者就労促進のため、業界団体の抱える課題を検証し、地域福祉関係者との新たな連携協議会を開設、協議・整理し、福祉側の取り組み共有と、安定した就労となるよう企業における事例の情報共有を行い、より良い人材マッチングや定着支援へ繋がるような仕組みづくりを目指した。

(4) 平成29年度「障がい者の多様な社会参加促進事業」(予算額: 6,372千円)

①障がい者職域開拓コーディネーターの派遣

(実施分野: 建設業、金融業・保険業、教育・学習支援業、複合サービス事業)

②事例報告会の開催

③報告書の作成

＜企業・団体における取り組み＞

企業・団体 (業種)	企業・団体の 所在地	取り組み経緯・概要
北洋建設株式会社 (建設業)	札幌市	障がい者雇用実績があるものの、定着に結びつかないケースがあった。そのため、過去の退職者の状況を振り返り、課題検証しながら状況を整理し、今後の就労定着に繋がるようなフォロー体制を目指してコーディネート支援を行った。
道南つみ街信用金庫 (金融業、保険業)	江差町	お金を取り扱う仕事ということで、障がい者向けの職の作り方に不安要素があった。そこで、金融業においても障がい者の多様な働き方の可能性のあることを企業内部の委員会等で事例紹介し、今後の業務見直しの中で検討活用いただき、段階的に障がい者雇用に結び付くようなコーディネート支援を行った。
北見工業大学 (教育、学習支援業)	北見市	法定雇用率達成のために障がい者求人を出しても、採用できる人が見つからず苦慮していた。そこで、仕事の内容を整理し、対外的なコミュニケーション（電話対応や窓口での対応）を必要としない仕事のみに従事できる体制を整え、障がい者の採用条件を緩和することにより、障がい者雇用を目指すコーディネート支援を行った。
JAきたみらい (複合サービス事業)	北見市	労働力確保対策の一環で、「農福連携」及び障がい者雇用に関心を持っていたが、障がい福祉に関する知識・ノウハウが不足しており、具体的な動きになっていなかった。そのため、障がい福祉の基本的な知識を持ち、地域での農福連携の導入および将来的な障がい者雇用に向けた検討をすすめることを目的として、コーディネート支援を行った。